



四日市市立朝明中学校第2学年
学年通信第21号 2023/3/9 (木)

～仲間の和を大切に・学び多き学年に～

「旅立ちの日」に

3月7日、3年生の卒業式が挙行されました。

リハーサルの合唱も素晴らしかったですが、本番の歌は、別れの日を迎えた先輩たちの心が加わり、涙がこぼれました。183名の声がよくもここまでと思えるほど一つになり、朝明中学校で過ごした日々の尊さを伝えてくれたように思いました。

8日。がらんとした3年生の駐輪場を寂しく感じると同時に、いよいよ2年生が朝明中学校を支える立場になったのだと身が引き締まる思いがしました。時を同じくして、昨日は生徒会選挙が行われました。候補者それぞれの強い意志が伝わり、接戦投票になったと聞きました。候補者の言葉の中には、

「朝明中学校を楽しく快適にしたい。」「朝明中学校を自分たちの手で変えたい。」とありました。最高学年としての決意が感じられ、頼もしく思いました。生徒会役員であるなしかかわらず、その心意気をこれからも持ち続けてください。

朝明中学校に、学年に、あなたたちの力が必要です。

今日、学年集会を開きました。

日々の生活をこの機会に、もう一度振り返ってもらうためです。

「これくらい守らなくても…。」「みんな違反してるし。」

ルールへの甘さが、学校で、地域で、横行している実情があります。

ノーヘル、危険走行、通学路違反、持ち物違反、服装違反…。

「これくらい」は、本当にこれくらいで済むのでしょうか。

「みんな」が本当に違反しているのでしょうか。

あなた自身が、「これくらい」の違反の幅を広げ、「みんな」のよくない輪を広げてはいないでしょうか。

それが、やがて後輩に伝わり、後輩はそれを「当たり前」として受け止め、いつの間にか「ルールは破るためにある」となっていないでしょうか。

今、みんなと行う授業はとても楽しいです。たくさんの意見が聞け、すべき課題に一生懸命取り組む姿に、先生たちも頑張ろう！という気持ちにさせられます。

今、それが当たりの毎日です。ですが、実はとても貴重な毎日です。

「ルールは自分たちと周りの人を守るためにある。」

道徳でルールについての話し合いをしたとき、各クラスの黒板にそんな言葉が書かれていました。

そして、「いい大人とは」について書いた作文には、
「いい大人とは、まわりに気を配れる人。」「正しい行いは褒め、悪い行いには怒れる人」とありました。

みんなに、正しい判断力が育っていることを感じました。
それを、心の緩みと、自分への甘さから、なくしてほしくない。

「今こそ」自分を見つめてください。

正義と思いやりの中で、学校は学校として成り立つのです。

あなたたちが、朝明中学校をつくれます。

近所で5～6人の小学生が車に道を譲ってもらい、ぺこりと頭を下げていきました。
この朝明校区には心が育っています。その心を受け継ぎ、思いやりある地域として残していきましょう。あなたたちが、地域をつくるのです。

2年生生活は、後9日となりました。

「もう、どうでもいいや。」

「みんな、どうせわかってくれない。」

投げやりになって、苦しんだこともあったでしょう。

でも、それも、乗り越えたからこそ、今があります。

桜の木を見ましたか。

厳しい冬を越えて、つぼみをつけ、花を咲かせ始めています。

1年後の「旅立ちの日」に

この桜を見るとき

胸を張っていられるように。

3年生が去った今この時に

考えて、考えて、考えて

自分のあるべき姿を しっかりもって進んでください。

朝明中学校を、どうぞよろしくお願いします。